

GIGAスクール構想・一人一台端末の活用推進に向けて

「いわて学びの改革研究事業指定校(飯岡小・中学校)」

「教育研究ICT活用研究班」の実践事例・参考資料紹介

I 令和三年度

各校の実績について

GIGAスクール構想に係る一人一台端末の導入からおよそ半年が経過しました。市内各学校では、日常の授業における活用に加えて、企業・団体と連携してのオンライン社会科見学や職業講話等の開催、各教室を教師用端末でないでの全校朝会・学年集会の実施など、様々な実践が進められています。

端末を活用した教育活動を今後さらに推進するにあたっての参考資料として、県指定「いわて学びの改革研究事業」研究指定校の飯岡小・中学校から授業実践動画を、教育研究所ICT活用班の研究員のうち三名の先生方から研究紀要に掲載された実践の関連資料を提供いただきました。

なお、ここで紹介する資料は、全て共有フォルダから閲覧可能となっております(アクセス方法は各学校宛て別途通知)。

①飯岡小・中学校
両校では、三年間の研究指定二年目を迎え、岩手県立総合教育センター・岩手大学と連携し、ICTを活用した授業実践が行われています。

飯岡小学校からは、十月七日に行われた校内研究会に関する授業映像(一年生算数「図形領域」)を、飯岡中学校からは、十二月十五日に行われた授業映像(二年生数学「データの活用領域」)を提供いただきました。

小学校低学年の授業において一人一台端末の活用をどのように進めたらよいか、データの活用領域の授業では、生徒たちが端末を活用した授業がどのように展開されているのか、それぞれ具体的な事例を学ぶことができる動画資料です。

両校の令和三年度の実践については、岩手県教育研究発表会で報告されました。事業の研究紀要に掲載される資料は、後日各校宛て情報提供する予定です。

②中野小学校
小学校三年生での活用事例を提供いただいています。研究紀要では社会科の授業でロイロ・ノートの活用例を紹介いただきましたが、その後もICTを活用した授業づくりに継続的に取り組まれ、実践の積み重ねを通して見えてきた「スムーズな端末活用のためのポイント」をまとめたものを、別紙資料として提供いただいています。指導案等と合わせて参考にしていただきたい内容です。

③高松小学校
小学校五年生での活用事例を提供いただいています。算数・図形領域の指導に当たって、「ICT活用が効果的と思われる場面適切に活用する」ことをねらいとして単元指導計画を作成しました。デジタル教材と紙のプリントを併用して、授業を実践しています。

研究通信
2021. 10. 25 NO7

理科部会研究会 実験と実世界をつなぐICT活用

今年初めての理科部会の授業が、10月11日(月)に小学校5年生大志田美和字様で行われました。この授業は前時に行った流水実験をビデオで記録し、その映像を使いながら「結果からいえる考察」を深く掘り下げるというものです。流水の現象を日常世界とつなげることで、実感を持たせることができている。理科だけではなく、映像を使用する際には、利用する教材の目的がはっきりしていること、視聴する視点が示されていること、それらがきちんと記録されることが必要となります。それら3点についてもしっかりと板書や大画面TVに示されていました。



前時実験の条件確認
(大切なポイントです)
視点がわかるからこそ話し合いもできます。



このようにしっかりと授業構想があり、これからの実生活につなげる授業展開です。教科書の写真の利用の仕方に工夫がありました。



教科書の写真をコピー機でPDFファイルとして取り込み、そのPDFをロイロノートで児童に配布。児童はそのファイルに、見つけた考察の部分囲んで記入して先生へ提出です。



これは教科書の写真です。写真に記入



提出箱一覧
(どの班が提出したか一目瞭然)



土淵小・中学校の「研究通信」です

④土淵小・中学校

学校全体でICT活用推進を図った一年間の取組について情報を提供いただいています。

令和三年度中に発行された研究通信(全十四号)や、研究紀要で紹介されていたトラブル対応事例集「ロイロあるある」も、参考資料として提供いただきました。小中一貫教育(連携)の新たな視点の一つとして「ICT活用」を取り入れた、組織的な取組となっています。

II 令和四年度に向けて

令和四年度の「学習者用デ

ジタル教科書実証事業」では、全国の全小中学校に対して、英語(外国語)の学習者用デジタル教科書が提供されることになりました。国では、令和六年度以降のデジタル教科書の運用に向けた検討が進められています。

さらに、全国学力・学習状況調査のCBT化をはじめ、ICTを活用し、子どもたちに資質・能力を育む教育の流れは、着実に進んでいます。教育研究所では、今後も教員研修の企画・充実、研究員研究等によるICT活用に関する実践的研究を推進し、情報発信してまいります。